

小児科に通院中（または 過去に通院・入院されたことのある）患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題】新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)流行下の小児における呼吸器ウイルス感染症の流行状況についての検討

【研究機関名】 NTT 東日本札幌病院

【研究責任者名・所属】 森 俊彦（小児科 部長）

【研究の目的】 2019年12月に中国の武漢で始まった新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の流行は、瞬く間に全世界に広がり、多くの新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の発症と死亡をもたらしました。Covid-19の世界的流行が1年以上続き、マスクや手洗いなどのコロナ感染予防はいまや一般常識レベルに浸透しています。この対策はCovid-19のみならず、あらゆる感染症予防に有用と考えられています。Covid-19の流行後に、インフルエンザやRSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなどの呼吸器感染症は激減しましたが、ライノウイルスは10歳未満の小児で増加していることが2021年3月に報告されました。その理由としてSARS-CoV-2出現後、感染対策が奏功し市中のインフルエンザ感染者が減少したことが、10歳未満の小児におけるライノウイルス感染増加と関連しているのではないかと推測されていますが、まだ不明です。FilmArray呼吸器パネルはSARS-CoV-2を含めた、インフルエンザA、B、アデノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなど16種のウイルスと、百日咳菌、肺炎クラミジア、肺炎マイコプラズマの3種の細菌の遺伝子を1時間で同時に検出できる迅速検査であり、当院では、2021年3月より本機器を用いて、SARS-CoV-2をはじめ、呼吸器感染症の迅速診断を行っています。2021年3月以降、北海道(札幌市)では新型コロナウイルスが大流行していますが、SARS-CoV-2以外の呼吸器ウイルスの流行状況に関してFilmArray呼吸器パネルを用いて検討しています。

【研究の対象】

○対象となる患者様

2021年3月から2022年3月までの期間に当院の外来・入院で感冒症状やSARS-CoV-2の濃厚接触でFilmArray呼吸器パネル検査を受けた患者様。

○利用するカルテ情報

FilmArray呼吸器パネルの検査結果、性別、年齢などの患者様特性、発熱、咳嗽、鼻汁などの臨床症状、血液液検査(白血球、CRP値、生化学検査などの検査結果)、胸部写真などの画

像検査結果、入院期間、合併症の有無、治療等。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さん個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前住所などを特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌に発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

NTT 東日本札幌病院小児科

連絡先:〒060-0061 札幌市中央区南1条西15丁目

担当医師: 森 俊彦

Tel: 011-623-7240

Fax: 011-623-7527